

ACCESS



いつももっと
一人ひとりに
寄り添う

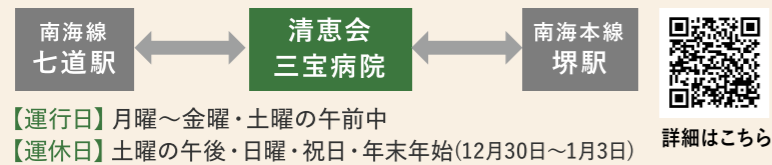


We provide you with personalized care for the pathway to lifelong health, as a team of medical experts and professionals.

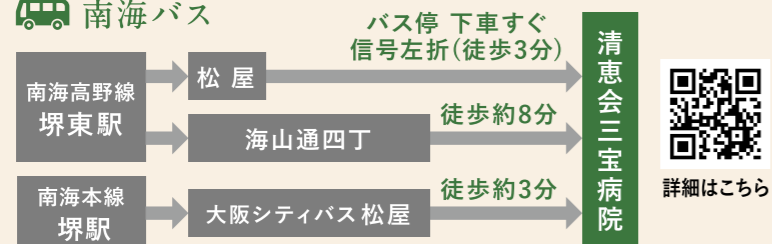
社会医療法人 清恵会
清恵会三宝病院



無料送迎バス



南海バス



お車

- 国道26号線をご利用の場合、鉄砲町交差点を西へ曲がり、2つ目の信号を右折
- 大阪臨海線を北からお越しの場合、松屋町交差点を左折し、2つ目の信号を右折
- 阪神高速湾岸線からは、三宝出口を降りて東へ曲がり、浅香山通交差点を渡って1つ目の信号を左折

社会医療法人 清恵会
清恵会三宝病院

〒590-0903
大阪府堺市堺区松屋町1丁4番地の1
TEL : 072-226-8131 (代表)
<https://seikeikai.or.jp/sanbou/>

病院HP



患者様に寄り添う

複合型慢性期機能病院

内科・整形外科・人工透析の診療科、全240床に及ぶ回復期リハビリテーション病棟・慢性期療養病棟・慢性期維持透析病棟を備えており、回復期治療・慢性期療養を中心に、在宅療養も見すえたトータルケアを行っています。

清恵会グループの 理念と経営方針

理念

清恵会の職員は生命(いのち)を尊び
人々の健康を願い医療の充実に日々努力します

経営方針

民間病院の良さを生かしながら、地域の皆様のお役に立てる病院でありたいと希望し、「5つの方針」を掲げて日夜頑張っています。

1. 地域の皆様の生命(いのち)と健康を守る医療
2. 信頼と安心の医療
3. 患者様中心の医療
4. 思いやりのあるサービス
5. 患者様のトータルニーズに応えるサービス

社会医療法人清恵会 清恵会三宝病院とは

清恵会三宝病院は、脳疾患や外傷などの急性期治療後に、継続して入院が必要な患者様や透析患者様の治療・療養を担う慢性期機能病院です。

当院の特徴は、医療法人清恵会の創設期から先駆的に取り組んできたリハビリテーションと人工透析の両機能にあります。リハビリテーションは、総合リハビリテーションセンターを中心に、回復期リハビリテーション病棟・慢性期療養病棟など院内全病棟の患者様に提供しており、退院後も通所・訪問によってリハビリテーションを継続できる環境を整えています。人工透析においては、入院による維持透析と外来透析を行っています。これらの各部門で専門医、看護師、専門スタッフが連携したチーム医療を提供しており近年は地元の堺市だけでなく近畿一円から患者様にご来院いただいております。

今後もより良い療養生活と在宅生活を実現すべく、さらに一人ひとりの患者様のお気持ちに配慮した充実の医療を提供して参りたいと考えております。

清恵会三宝病院 院長

POINT 清恵会三宝病院と清恵会グループの連携

グループ内の回復期・慢性期医療機関として、急性期治療後の転院と在宅療養へのスムーズな移行を行っています。



病棟のご紹介

回復期病棟(回復期リハビリテーション病棟)

▶対象となる方

急性期病院を退院された方で、すぐにご自宅へ退院するには不安があり、積極的なリハビリテーションを必要とする方

病棟の特徴

当病棟には、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専従スタッフが在籍。日常生活動作を活かした指導や歩行練習を行っている他、歯磨きやトイレなど生活動作を生かしたリハビリテーションを行っています。また定時のレクリエーションや屋上園芸など、入院生活を楽しく過ごしていただく取り組みも行っています。



POINT 週7回、365日体制

回復期リハビリテーション病棟の入院患者様を対象に、平日だけでなく日曜日や祝日もリハビリテーションを行える体制を整えています。年末年始やゴールデンウィークなどの連休時も、動作練習や機能訓練に取り組むことができます。

療養病棟(慢性期療養病棟)

▶対象となる方

維持透析や継続した医療的処置が必要な方や、病状によって長期間の療養を必要とする方

病棟の特徴

廊下は車椅子やストレッチャーでも余裕をもって移動のできる幅広いスペースあり、トイレも車椅子でも移動しやすいスペースを確保した洋式トイレが病室2部屋ごとに全8か所に設置しています。お風呂も、機械浴やストレッチャー浴を完備しています。(院内全棟共通)



POINT 多様な病状に対応し、安心して過ごせる病棟

主治医の指示のもと、日曜日・祝日を除く週6日間はリハビリテーションを提供できる体制があり、言語聴覚士によるリハビリテーションの提供も行っています。

患者様の1dayスケジュール

病棟内リハビリテーションでは、主に車椅子からトイレへの移乗動作や排せつ、洗顔や歯磨き、ベッドでの起き上がり、歩行など生活全般において必要な動作を練習しています。入院中の生活の質が高くなり、退院への準備も行いやすくなります。

回復期病棟

(回復期リハビリテーション病棟)

急性期を脱して、主に日常生活動作能力の向上と在宅復帰を目的としたリハビリを集中的に行います。



療養病棟

(慢性期療養病棟)

重篤な患者様、透析をされている患者様、ターミナルの患者様など、様々な病状に合わせたリハビリを提供いたします。



POINT 回復期リハビリテーション病棟の入院から退院後の支援

回復期・慢性期の患者様へのリハビリテーションと入退院サポートにより、急性期治療から在宅療養へとつなげています。



退院後の在宅生活支援

退院後の在宅生活を支援するため、介護保険サービスによる通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションを行っています。患者様の「ありたい姿」に少しでも近づくこと、そして在宅での生活が楽しめることを目的に訓練を行います。
※対象者は要支援(1・2)、要介護(1~5)認定を受けている方となります。



POINT 充実のリハビリ機器設備

学会や研修会に参加し、リハビリ効果を高められるように、常に新しい情報や機器を取り入れています。

■上肢リハビリ装置「CoCoroe AR2」

対象 脳血管疾患/脳出血/脊髄疾患などによる手の運動まひ

電気・振動刺激を入れながら筋肉の運動を促通します。適切な負荷量のもと、反復運動を行い、機能の改善を図ります。



■免荷式歩行リフト「POPO」

対象 足への負担や介助量の問題で歩行練習が難しかった患者様

40kgまで体重を免荷することが可能で、転倒リスクを大幅に軽減した中で歩行練習ができる歩行器です。



■密着型歩行支援ロボット「Re Gait」

対象 脳梗塞/脳出血などの運動まひ

歩行に必要な足首の運動をサポートし、正常な歩行の再学習を促すことができるリハビリ機器です。



■随意運動介助型電気刺激装置「IVES」

対象 運動まひ

運動まひによって動きにくくなった手・足の筋肉の動きを電気刺激でアシストするリハビリ機器です。



人工透析

30年以上に及ぶ人工透析の実績をベースに、入院・外来での透析医療を提供。豊富な診療データの蓄積と充実した透析環境を基に、透析患者様の安心を支えています。

人工透析センター

腎不全などの診療施設である当センターには、41床の豊富な透析ベッドを設置。人工透析の常勤医師と非常勤医師が在籍しており、看護師や臨床工学技士、クラーク等とのチーム医療により、安心の診療環境を整えています。



▶ 透析スケジュール

月～土 / 午前9:00～
午後13:00頃～

※午前・午後 2クール(夜間透析は無し)
※午後は、午前患者様のベッド状況により前後することがあります

入院・外来患者様を問わず対応可能です。

慢性期維持透析病棟 入院

人工透析センターと同階にある病棟で、慢性腎不全で維持透析中の患者様が入院されています。フットチェックや血液検査の結果を踏まえた生活指導を行い、合併症を予防し快適な透析生活を送れるよう患者様の視点に立って支援しています。



外来透析 外来

当院では、外来での人工透析にも対応しています。治療は人工透析センターで実施。幅広い玄関ロビーや廊下、ゆったりくつろげる談話室など車椅子の方も無理なく移動できる環境を整えています。



多職種連携

～私たちが連携して患者さまを支えます～

多職種がチーム体制で協力し、患者様を担当。適時ケースカンファレンスを開き、各専門分野から意見を出し合いながら患者様一人ひとりに合わせた「リハビリテーション総合実施計画書」を作成します。その後も、チームで情報共有し、治療方針の再検討を重ねながら、患者様の状態に合わせた医療・看護・リハビリテーションを行っています。

医師



患者様、ご家族の想いを大切に、寄り添った医療を提供します。

看護師



安心して入院生活が送れるように寄り添い、ケアします。

介護職



リハビリで獲得した能力を活かし、入院生活をお手伝いします。

相談員



多職種と情報共有して入院から退院まで、ご相談に応じます。

管理栄養士



リハビリと相談して、活動量に応じたお食事を提供します。

臨床工学技士



医療機器の管理・操作を行い、入院生活の安全を守ります。

薬剤師



医師と連携して薬の飲みやすさや身体の負担にも配慮します。

理学・作業療法士 言語聴覚士



やりたいことができるように、質の高いリハビリを提供します。

院内風景

■ リハビリ



■ 病院食



■ 院内

